



2025.5.1
あおぞら保育園

新年度スタートから1か月。若葉が芽を吹き、日ごとに緑が濃くなっていくように、子どもたちも日々成長しています。最初は不安そうだった新入園児たちも、お友達と元気に遊べるようになり、泣き顔が減ってきて笑顔の時間が増えるようになりました。進級した子どもたちは、お兄さん・お姉さんらしくなり、はりきって年下の子の面倒をみています。

疲れや緊張から、発熱を繰り返したり体調を崩すお子さんも増えています。お休みの日は、ゆっくり休養をとるようにしましょう。

4月の感染症		5月の保健行事	
	溶連菌感染症・・・17名		1日（木）～9日（金） 身体測定週
	突発性発疹・・・2名		8日（木） 春の健康診断 14：15～全園児
	胃腸炎・・・2名		（0歳児健診も兼ねています）
	りんご病・・・3名		9日（金） 手洗い指導 3歳児
	RSウイルス・・・2名		12日（月）手洗い指導 4歳児・5歳児
	流行性角結膜炎（はやり目）・・・2名		（年間予定から変更）
新型コロナウイルス・・・1名			

新年度、環境の変化や気温の変化で下痢・嘔吐や発熱などの症状が増えています。3月から引き続き、溶連菌感染症が少しずつ出始めていましたが、4月になると立て続けに感染者が増えました。潜伏期間は2日から5日。飛沫感染です。突然の発熱、咽頭痛、体や手足に発疹・いちご舌など特有な症状があります。今回感染したほとんどのお子さんは、微熱・嘔吐あり・喉の赤みがない症状だったので医師も溶連菌ではないという診断が多かったです。ですが、熱の上がり下がりが長引いたため検査したら溶連菌だったという事例が多くありました。うさぎ組では、咳込み嘔吐のお子さんが数名います。熱がなくても咳がひどい場合はご連絡させていただきます。感染者が増えている状況下において、お子さんが発熱や嘔吐等の症状が見られた場合、医療機関の受診をお願い致します。感染拡大防止にご協力お願い致します。

小さなお子さんは、自分で体の不調が訴えられないので大人がよく観察しましょう。食欲がない・機嫌が悪いなどいつもと様子が違う場合は、お知らせください。

～歯科検診の結果について～

24日に歯科検診の結果を配布しました。「歯科受診について」と記載があった方は、8/29（金）までに受診をお願いします（かかりつけ医で受診が可能）。受診されましたら下半分を切り取りご提出ください。治療予定の方も次回受診日を記入してご提出ください。

当日、歯科検診を欠席された方は、5月中旬に井上歯科医院へ受診をお願い致します。

	受診者数	虫歯あり (要受診者数)	その他(エナメル質初期 う蝕・反対咬合・開咬など 要受診者数)
ひよこ	6名	0名	0名
べんぎん	14名	0名	1名
うさぎ	19名	0名	1名
ことり	16名	1名	6名
はな	15名	1名	4名
つき	17名	3名	5名

～井上歯科医院 院長先生より～

一部虫歯のお子さんがいましたので、受診は必ずしましょう。虫歯がなくても定期的に歯科受診してください。指しゃぶりをしている3歳児以降の開咬が増えています。指しゃぶりを続けていると、そしゃくが上手くできず、口呼吸になったり、発音がうまくできなくなりますので3歳を過ぎたらやめさせましょう。全体的に虫歯のお子さんが少なく、歯の清掃状態も非常に良いと井上先生からお話がありました。

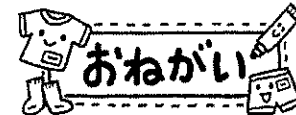
熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は戸外で強い直射日光にさらされることが原因で熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。熱中症は、夏のイメージですが、5月に発症することが多いので気をつけましょう。

なぜ子どもは熱中症になりやすい？



子どもは体温調節が上手くできず、温度変化の影響を受けやすい。また、衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすい。車や家の中でも起きます。特に車中は、高温になります。子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。



・保育園の洋服はサイズが大きすぎると転倒や怪我に繋がります。お子さんの成長に合わせた丁度良いものを選びましょう。また、スパンコール付きの洋服は糸のほつれにより、誤飲の恐れがありますので控えてください。

- ・パーカー ・ワンピース ・チュニック
- ・ズボンの裾や袖に飾りがあるもの ・穴開きTシャツ
- ・素材が硬いジーンズ ・ダボっとしたズボン



★初めての身体測定★



4月にスタートしてから初めての身体測定を行いました。特に小さなクラスは、洋服を脱ぐこと、体重計に乗ること、初めてのことが重なったので一人泣くと連鎖となり、涙の合唱。表情は様々でしたが無事に終了しました。泣いて動いてしまったり、多少の誤差があるかもしれませんが、少しずつ慣れてくれたら嬉しいです。「じょうぶなからだ」に記載しましたのでご覧いただきましたらサインをお願いします。

上記のものは動きを妨げてしまうことがあります。年齢に関わらず「動きやすい」「着脱しやすい」「安全」な洋服を選びましょう。素材は、伸縮性、通気性、吸湿性に優れているもの、特に綿素材のものが良いですね。

- ・気温差がある5月です。衣服調節ができるよう半袖と長袖の両方の準備をお願いいたします。
- ・食品や動物アレルギーをお持ちのお子さんもしらいます。食べながらの登園はご遠慮願います。口周りが汚れていたら拭いてから登園しましょう。



ことばの相談



2歳ごろから爆発的に語彙数が増え、3歳以降は友達や身近な大人との会話を楽しめるようになりますが、なかには、滑舌や吃音（どもり）などで困っているお子さんも増えています。特に力行やサ行の言いづらは、子どもたちに見られる間違いです。成長に伴って治ることが多いですが、4歳を過ぎても発音の癖が残ってしまい、正しく発音ができないお子さんもいます。自然に治らない場合を機能性構音障害（発音の癖）と言い、構音訓練（言語聴覚士による発音の指導）が必要になります。練習の時期は、お子さんによって多少変わりますが、一般的には年長さんからが適齢です。

毎年2回、小児専門の言語聴覚士にお越しいただいていますが、今年は先生のご都合により1回です。この機会に子どもたちと遊びながら、友達とのかかわり方で何か困っていることはないか、ことばや発達、咀嚼などの観察やアドバイスを受けることができますので、ご希望の方やご質問は5/23（金）までに看護師へ。

- 例）
- ・言葉の遅れが気になる。
 - ・耳の聞こえが心配。
 - ・「こ、こ、こ・・・これください」など言葉の言い始めまでに時間がかかる。
 - ・力行やサ行が上手く言えない。
力行の例） 「こころ」⇒「ととろ」 「たいこ」⇒「たいと」
サ行の例） 「さくら」⇒「たくら」 「しんかんせん」⇒「ちんかんちえん」
 - ・就学へ向けて、言葉の理解力がどの程度あるのか心配。
 - ・友達とのコミュニケーションが苦手。

医療機関へ足を運ぶのは少し悩むけど、保育園にことばの先生がいるなら聞いてみようかな・・・など。専門的なことを保護者へわかりやすく説明していただきますので保護者の方からも好評です。どんな些細なことでも、お子さんのことでご相談がありましたら、連絡ノートや口頭でも構いませんのでお気軽にお声かけください。